

# 松本市美ヶ原高原魅力向上事業構想 <概要版>

令和8年4月策定  
松本市文化観光部 観光ブランド課  
TEL 0263-34-8307/FAX 0263-34-3049

## ■ 策定の背景と目的

「松本市美ヶ原再生計画」(令和4年12月策定)において示された、美ヶ原高原に所在する公共施設の改修等の方針を、実行性のある事業構想として具体化するため、「松本市美ヶ原高原魅力向上事業構想」を策定するものです。

## ■ 対象となる施設



### うつくしテラス(美ヶ原駐車場売店)

松本市街地からのアクセスルート(車道)の終点にあり、高原エリアの西の玄関口として来訪者を迎える役割を担います。来訪者の期待感を高めるとともに、天候や季節に関わらず安心して滞在できる施設が求められています。



### 松本市三城いこいの広場

三城いこいの広場は、高原エリアの南に位置し、市街地からのアクセス性を生かして、より気軽にその自然環境に親しめる場所としての役割を担います。台上への登山口があり、美ヶ原エリアにおける登山ニーズを支える役割も担っています。

## ■ 構想の位置づけ

### 【国・県の指針】

- ・観光立国推進基本計画
- ・国定公園及び県立自然公園に係る公園事業取扱方針等

### 【松本市上位計画】

- ・松本市総合計画(基本構想2030)
- ・松本市観光ビジョン

構想会議  
有識者  
地元関係者

松本市美ヶ原再生計画  
(令和4年12月策定)

ヒアリング  
関連事業者  
(県内外)

事業構想

## ■ 松本市美ヶ原高原魅力向上事業構想会議

適正な整備規模などについて俯瞰的、客観的な視点で検討するため、宿泊・観光事業関係者、地元市民代表者、学識経験者、外部有識者等による「松本市美ヶ原高原魅力向上事業構想会議」(全4回)において議論を重ねました。合わせて関連事業者にヒアリングを実施し、多様な視点から検討を加えました。

### ≪ 構想会議における意見集約 ≫

- ・将来的な維持管理の負担にも配慮し、必要最小限の投資とすること。
- ・受入環境の質を高めるため、非収益機能の充実を重視すること。
- ・ロープウエー建設は諸課題に影響するため市による研究を積極的に進めること。

## ■ 構想の概要

事業目標

**STEP1**: 受入施設の目的地化、アイコン化を目標とし、既存施設の再整備によりその実現を図る。

**STEP2**: 「松本市観光ビジョン」に定める「量から質へ」の方針を踏まえ、①シビックプライドの醸成、②インバウンド対応、③市内宿泊者数の押上げ、の3つを目標とし、再整備後の施設の活用を中心としたエリア全体の活性化を進める中で実現を図る。

整備方針

- ① 施設の敷地の位置・範囲は現状維持
- ② 「松本市美ヶ原再生計画」との整合性を考慮
- ③ 設備の規模と敷地内での効率的な配置を考慮して機能を検討
- ④ 初期費用や維持費等のコスト面を考慮して機能を検討
- ⑤ 雨天・荒天時の利用、冬期利用の可能性に配慮した機能を検討

機能検討

### 【目的地化に寄与する機能】

- ・美ヶ原高原の『本質的な魅力』を生かせる機能
- ・集客に効果的な情報発信につながりやすい機能
- ・全天候、全季節対応型の機能

### 【受入施設としての基本的機能】

- ・売店などの既存施設のホスピタリティを向上させる機能
- ・維持管理コストの軽減につながる機能
- ・将来的な冬期利用を見据えた機能

### うつくしテラス



※イメージ図

展望の良い北東側に配置し、テラスを設けます。王ヶ頭などへの中継地点としての役割と、目的地としての役割のバランスを取りつつ、配置方向を工夫し松本市街方向への眺望も考慮したプランとします。(概算建設費: 6.2億円)

概略プラン

### 三城いこいの広場



※イメージ図

環境への影響が少ない現在地付近に管理棟を設ける配置とします。豊かな自然を生かしたドッグランを整備しキャンプ場利用者の充足と整備・維持コストの抑制に重点をおいたプランとします。(概算建設費: 4.5億円)

整備

【うつくしテラス】構想に基づき、R8~R9年度に基本・実施設計(事業費: 12,230千円)を行います。その後、地質調査、外構工事、本体工事等を経てR11年度の供用開始を目指します。

【三城いこいの広場】ロープウエー研究の進捗を見ながら、美ヶ原少年自然の家等の周辺施設の在り方検討と合わせて、適切な事業化の時期を今後検討します。